

福祉 (高齢・介護・障がい) の窓

ご存じですか 補聴器給付事業



市は、身体障がい者(児)の日常生活や職場生活を容易にするため、失われた身体の機能を少しでも補う、補装具給付事業を行っています。

補聴器給付事業は、この補装具給付事業の一つで、聴覚障がいにより身体障害者手帳をお持ちの方が、事前に申請して決定を受けることで、補聴器購入額の一部が助成される制度です。

◎申請に必要なもの

- ・補聴器の見積書
- ・医師からの意見書
- ・印鑑(朱肉を使うもの)
- ・身体障害者手帳

◎申請窓口

障害福祉グループ(市役所本庁舎7番窓口)

※申請時に申請書や調査書などを記入していただきます。

◎給付決定

申請手続き終了後、専門の相談機関である心身障害者総合相談所が審査し、1・2カ月ほどで給付の可否が決定されます。

給付が決定しましたら、市が決

定通知書と補装具費給付券を郵送しますので、届いた給付券を補聴器取り扱い業者に渡し、記載されている自己負担額を支払うことで、品物が引き渡されます。

◎自己負担額

原則、総額の1割が自己負担額となり、残りの9割が公費負担(助成)額となります。

ただし、負担が増え過ぎないよう、所得に応じて自己負担額の上限額が設定されています。

なお、生活保護受給世帯の方は自己負担はありません。

◎主な補聴器の種類

・箱形：小型の本体をポケットなどにに入れて使うもので、イヤホンがコードによって本体と接続している。

・耳掛型：小さなバナナのような形をしており、耳の後ろに掛けて使うもの。

※ほかにも、挿耳形(耳あな型)、眼鏡型などの種類があります。

▼問い合わせ 障害福祉グループ

(☎) 3732

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別太鼓夢童

『登別太鼓夢童』は、『登別太鼓』の高校生以下の会員で構成されており、現在、会員は小学2年生から高校3年生までの10人。毎週月・木曜日、18時30分から20時30分まで青葉小学校体育館で練習に励んでいます。

「わたしたちの団体は、平成8年、北海自衛太鼓が室蘭白鳥大橋開通イベント『千人太鼓』に挑戦するために市民へ参加を呼び掛け、結成された『登別太鼓同好会』が前身なんですよ」と結成のいきさつを話すのは代表の飛松一郎さん。

「夢童は、子どもたちの健全育成やまちの活性化を目的に活動しており、市内のイベントや福祉施設などで演奏を披露しています。

子どもたちは、何事も一致団結しており、会の雰囲気はいいですね。夢童を卒業した2人が、子どもた



みんなで太鼓を楽しみながら、和太鼓文化を普及させたい

ちの憧れである北海自衛太鼓で活躍しているんですよ。今は少ない会員で活動していますので、たくさん子どもたちに、わたしたちと一緒に和太鼓を楽しんでもらいたいですね」と飛松さんは入会を呼び掛けていました。

小学3年生から入会している五十嵐悠斗くん(小学5年生)は、「太鼓演奏をイベントで見かけてカッコいいなと思い、太鼓を始めました。太鼓がとても楽しいので、練習がっつらいつつとは思っていません。新しい曲を覚えたときがうれしいです。たくさん曲を覚えてもっと上手になりたいです」と話してくれました。

入会を希望される方は、事務局・遠藤さん(☎) 4695) までどうぞ。